

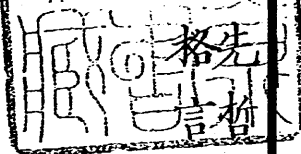
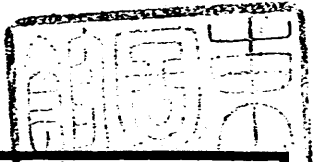
先哲
 格言
修身要訓
 中村鼎五編
 六

館藏書合訂本目
 一八函
 二架
 三〇號
 七册

257

378

K110.1
 106
 6



修身要訓 卷六
江 中村鼎五編

○人行義ヲ脩メ、生産ヲ治メ、身體
ヲ保ツ、此三者ハ、人道ノ立ツ所
以ナリ、最先講求セサルヘカラス

伊藤東
涯語

○平心和氣ハ、是身ヲ養ヒ、徳ヲ養

先哲修身要訓 卷六 中村鼎五編

フノ工夫ナリ 慎思録

○君子ハ道ヲ修メ、徳ヲ立ツルニ、窮困ノ爲ニ節ヲ改メス 說苑

○凡君子ト小人ト、由テ分ル、所ハ、固ニ義ヲ好ムト、利ヲ好ムトノ間ニ在リ 同上

○危ニ臨ミテオソレス、義ニ當リテ、其身ヲオビマサルハ、コレ君子

變ニ處スルノ道ナリ、是ノ時ニ當リテハ、宜シク勇猛果敢ナルヘシ 同上

○人身ノ爲ス所ハ多端ナリト雖、之ヲ要スルニ、言行ノ二者ニ過キサルノミ、故ニ身ヲ脩ムルノ道ハ、言行ノ上ニ於テ、之ヲ誠ニシ之ヲ敬ムヘシ 貝原益軒語

○凡事敬スレハ則能立ツ、纔ニ慢心アレハ日ニ弊壞ニ趨ク朱子語

○敬ハ志慮ヲ定メ、精神ヲ攝シ、本心ヲ存養スルノ道ナリ初學知要

○君子ハ敬ハサルコト無シ、身ヲ敬フヲ大ナリトス孔子語

○善ヲ爲スノ心ハ、當ニ念々忘レサルヘシ、須臾ノ間アルヘカラス

讀書錄

第二章

○君子ニ二ノ恥アリ、能スル所ニホコルハ恥ナリ、能セサル所ヲ飾ルハ恥ナリ、能スレハ謙リテ之ニ居リ、能セサレハ學ヒテ之ヲ充タス

畜徳録

○恭ヲ致シテ其節ニ中レハ、則能

ク恥辱ニ遠サカル、自ラ卑フシテ
 人ヲ尊ヒ、彼ヲ先ニシテ己ヲ後ニ
 スルハ、恭ヲ致スノ事ナリ 朱子語
 ○君子ハ能ナキコトヲ病ヘテ、人
 ノ己ヲ知ラサルコトヲ病ヘス 論語
 ○人トシテハ善ニホコラス、物ト
 アラソハサルヲ徳トス、タトヒ官
 位ノ高ク、才藝ノスクレタルモ、皆

コレヲ忘ルヘシ

徒然草

○容貌辭氣ハ、乃徳ノ符ナリ

朱子語

○我當ニ人ノ長處ヲ視ルヘシ、人

ノ短處ヲ視ルコト勿レ

言志
晚錄

○自ラ高矜ニシテ問フコトヲ好

マス、人ニ取テ以テ善ヲ爲スコト

能ハサルハ、所謂自ラ用フレハ則

小ナルモノナリ、是局量褊狹ニシ

テ、己ヲ舍テ人ニ從ヒ、人ニ取テ以テ善ヲ爲スコトヲ樂ムノ道ニ非ス
慎思録

○貧ハ才無キヨリ貧シキハナシ、
賤ハ志無キヨリ賤シキハナシ
張黃岳家訓

○此ニ長セル者ハ彼ニ短ナリ、備ラントヲ一人ニ求ムルコト勿レ、

モシ其短ナル所ヲ惡ミテ、其長セル所ヲ忘ルレハ、是才ヲ棄ツルナリ
慎思録

○自ラ銜ヒ自ラ矜ルハ、名ヲ貪ル事ニテ名ヲ喪フノ基ナリ、實ヲ務メテ自ラ謙ルハ、名ヲ忘ル、事ニテ又名ヲ得ルノ基ナリ
同上

第三章

○深ク刻薄ヲ以テ戒ト爲シ、事毎ニ當ニ忠厚ニ從フヘシ薛文清語

○己ノ心ヲ盡スヲ忠ト爲ス、己ヲ推シテ人ニ及ホスヲ恕ト爲ス、己ニ施シテ願ハサルヲハ、亦人ニ施スコト勿レ朱子語

○少クオアル者ハ、往々好テ人ヲ輕侮シ、人ヲ調笑ス、失徳ト謂フヘシ

シ、侮ヲ受ル者徒ニ己マス、必憾ミテ之ヲ譖ル佐藤一齋語

○君子ノ人ニ接ハルニハ、禮讓ヲ以テス、故ニ争フ所ナシ、夫才能ヲ争ヒ、功業ヲ争ヒ、權力ヲ争ヒ、意氣ヲ争フハ、皆小人ノ爲ス所ニシテ、禮讓ノ道ニ非ス貝原益軒語

○小人ノ交ハ、外親シクシテ内疎

ナリ、始ニ合テ終ニ離ル、君子ノ交
ハ内外始終一ナリ易知録

○人己ヲ毀ルコトアラハ、當ニ退

テ之ヲ身ニ求ムヘシ王祖語

○善ヲ爲セハ則善應シ、惡ヲ爲セ

ハ則惡報ス、名ヲ成スモ身ヲ滅ス

モ、惟自ラ之ヲ取ルナリ省心襟言

○凡父兄師友ト道フヘカラサル

モノハ、爲スヘカラス、凡父兄師友

ト爲スヘカラサルモノハ、道フヘ

カラス畜徳録

○人ニ對スルニハ、其貴賤親疎ニ

隨テ、宜シク仁厚恭敬ナルヘシ、刻

薄傲侮ナルヘカラス初學知要

○其人ト爲リ口ニ毀譽多キ者ハ、

其是非スル所理ニ中ルト雖、終ニ

是君子ノ事ニ非ス、況ヤ理ニ中ラサル者ヲヤ

慎思録

第四章

○善ト知レトモ、實ニ好マスシテ行ハス、惡ト知レトモ、實ニ嫌ハスシテ去ラサル、コレヲ自ラ欺クト云フ

初學訓

○善ヲ作ス_一ハ、豈好事ニ非スヤ、

然レトモ一タヒ名ヲ好ムノ心有

ラハ、即禍ヲ招クノ道ナリ

願體集

○人ニ三ノ不祥アリ、幼ニシテ敢

テ長ニ事ヘス、賤ニシテ敢テ貴ニ

事ヘス、不肖ニシテ敢テ賢ニ事ヘ

サルハ、是人ノ三不祥ナリ

荀子

○利欲ニ迷フ者ハ、酒ニ酔ヒタル

人ノ如シ、人ハ其醜ニ堪ヘサルモ、

己ハ覺ラス讀書錄

○古ノ君子徳盛ニシテ矜ラス、功

大ニシテ伐ラサルハ、皆吾分内ノ

事ナルヲ以テナリ貝原益軒語

○凡卑幼ノ尊長ニ事フルニハ、當

ニ忠誠恭遜ヲ以テ本トスヘシ、事

大小トナク、必咨稟シテ乃行ヘ、專

擅ナルヘカラス應氏家規

○人ノ性ハ水ノ如シ、水一タヒ傾

ケハ、則復スヘカラス、性一タヒ縱

テハ、則反スヘカラス、水ヲ制スル

者ハ、必隄防ヲ以テシ、性ヲ制スル

者ハ、必禮法ヲ以テス省心襟言

○過ヲ知リテ能ク改メ、善ヲ聞キ

テ能ク用ヒ、己ニ克チテ以テ義ニ

從程子語

○人ノ性行苟理ニ當レハ、則自ラ
 信スヘシ、他人ノ誹議ニ由リテ、憂
 戚ヲ爲シ、疑惑ヲ生スヘカラス慎思錄
 ○一日善ヲ爲セハ、則一日ノ好人
 タリ、日日之ヲ行ヒ、久シクシテ休
 マサレハ、則善ヲ積ムコト窮リナ
 クシテ、其樂モ亦極リナシ同上

第五章

○信トハ、人ニ接ハルニ實ヲ以テ
 スルノ謂ニシテ、是人ニ接ハルノ
 本ナリ、人若シ信ナケレハ、言行皆
 虚妄トナル初學知要
 ○之ヲ言フコトハ易ク、之ヲ行フ
 コトハ難シ、言豈慎マサルヘケン
 ヤ、行豈勉メサルヘケン同上
 ○意盡テ言止ムハ、天下ノ至言ナ

リ東坡語

○約ハ負クヘカラス、約有レハ則
久ト雖忘ル、ト勿レ、諾ハ輕シク
スヘカラス、既ニ諾スレハ則大ト

雖必踐李觀文語

○喜ニ乗シテ、言ヲ多クスヘカラ
ス、快ニ乗シテ、事ヲ易クスヘカラ
ス讀書錄

○カヲ量リテ動キ量ヲ知リテ言
フハ、是智者ノ爲ス所ニシテ、言尤
寡ク行悔寡キ所以ナリ、苟カヲ量
ラスシテ動キ、量ヲ知ラスシテ言

ヘハ、尤悔ヲ免レス慎思錄

○人ニ分ツニ財ヲ以テスル之ヲ
惠ト謂ヒ、人ニ教ヘルニ善ヲ以テ
スル之ヲ忠ト謂フ孟子

○世人妄ニ奇怪ナル事ヲカタル
モ虚説多シ、吾目ニ見サルコトハ、

口ニ言フヘカラス

大和俗訓

○心ヲ立ツルニハ、忠信ニシテ欺

カサルヲ以テ主本ト爲ス

初學知要

○夫人ニ接ハルニハ、固ヨリ愛敬

ヲ以テ道トス、然レモ信實ニシテ

欺カサルニ出サレハ、則其顔ヲ温

ニシ貌ヲ恭スル所、徒ニ虚飾トナ
ル、何ソ以テ愛敬トスルニ足ラン

初學知要

第六章

○士當ニ君ヲ愛スルヲ、父ヲ愛ス

ルカ如ク、國ヲ愛スルヲ、家ヲ愛ス

ルカ如ク、民ヲ愛スルヲ、子ヲ愛ス

ルカ如クナルヘシ

羅豫章語

○君臣正シク、父子親ミ、長幼和シテ、而ル後禮義立ツ、容貌正シク、顔色齊ヒ、辭令順ニシテ、而ル後禮義備ハル 禮記

○鸚鵡能言ヘトモ飛鳥ヲ離レス、猩猩能言ヘトモ禽獸ヲ離レス、今人ニシテ禮ナケレハ、能言フト雖亦禽獸ノ心ナラスヤ 同上

○人ノ恩ヲ受ケテ負フニ忍ヒサル者ハ、子ト爲テハ必孝ナリ、臣ト爲テハ必忠ナリ 司馬溫公語

○忠順ヲ失ハス、以テ其上ニ事フルハ、是士君子ノ孝ナリ 孝經彙註

○才能アリ萬ノ事ニ長セリトモ、一タヒ節義ヲ失ヒテ、利ニツキ害ヲサケ、其君ニソムカハ、其餘ハ見

ルニ足ラジ 大和俗訓

○君子ハ義以テ質ト爲シ、禮以テ之ヲ行ヒ遜以テ之ヲ出シ、信以テ之ヲ成ス 論語

○言忠信ナラサルハ下等ノ人ナリ、行篤敬ナラサルハ下等ノ人ナリ、過テ悔ヒルコトヲ知ラサルハ下等ノ人ナリ、悔ヒテ改ムルコト

ヲ知ラサルハ下等ノ人ナリ 小學

○下等ノ語ヲ聞キ、下等ノ事ヲ爲スハ、譬ヘハ房舎ノ中ニ坐シテ、四面皆牆壁ナルカ如シ、開明ヲ欲スルト雖得ヘカラサルナリ 同上

○理明ナラサレハ則心ニ疑フ所有テ、動カサルコト能ハス、氣充タサレハ、則心ニ懼ル、所有テ、亦動

力サルコト能ハス

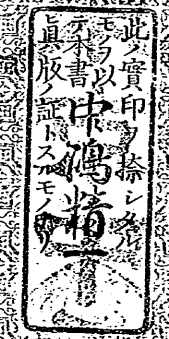
初學
知要

先哲
格言
脩身
要訓
卷六
終

官許

東京中近堂

信



明治十八年一月二十二日版權免許
同 年三月出版

定價金六錢

編者

滋賀縣士族

中村鼎五

出版人

東京府士族

中島精一

東京芝區三田町三番地

發兌

東京銀座三丁目

中近堂

大阪備後三丁目

中近堂支店

名古屋東本町三丁目

中近堂支店

東京通言
全芝三島町
全本町
全通三丁目
全通二丁目
全馬喰町

丸善商社
山中兵衛
金港堂
稲田佐兵衛
北島茂兵衛
石川治兵衛

東京横町
全油町
大阪備後町
全南久壽町
西京河原町
全寺町

出雲寺萬次郎
水野慶次郎
梅原龜七
前川善兵衛
大黒屋太郎右衛門
田中治兵衛

22
7
86

